

佐賀県職員の育児休業等に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成二十二年六月三十日

佐賀県人事委員会

委員長 馬 場 昌 平

佐賀県人事委員会規則第二十四号

佐賀県職員の育児休業等に関する規則の一部を改正する規則

佐賀県職員の育児休業等に関する規則（平成四年佐賀県人事委員会規則第四号）の一部を次のように改正する。

第三条を削り、第四条を第三条とし、第五条を第四条とする。

第六条第一項第四号を削り、同条を第五条とする。

第七条第一項第一号中「育児休業法」を「地方公務員の育児休業等に関する法律（平成三年法律第百十号。以下「育児休業法」という。）」に改め、同条を第六条とし、第八条から第十条までを一条ずつ繰り上げる。

第十一条中「第六条」を「第五条」に改め、同条後段を削り、同条を第十条とし、第十二条から第十四条までを一条ずつ繰り上げる。

第十五条中「第十一条」を「第五条」に改め、同条を第十四条とする。

様式第一号を次のように改める。

育児休業承認請求書

| | |
|---|-------------------------------------|
| (任命権者) _____様 年 月 日 | |
| 請求者 所属名 _____ 職 名 _____ 氏 名 _____ 印 | |
| 下記のとおり 育児休業の承認 育児休業の期間の延長 を請求します。 | |
| 1 請求に係る子 | 氏 名 |
| | 続 柄 |
| | 生 年 月 日 年 月 日生 |
| 2 請求の内容 | 育児休業 育児休業期間の延長 (新規 再度) (新規 再度) |
| | (再度の育児休業又は育児休業の期間の延長が必要な事情) |
| 3 請求期間 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| 4 既に育児休業をした期間 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| | 年 月 日から 年 月 日まで |
| 5 備 考 | |

- (注) 1 この請求書には、請求に係る子の氏名、請求者との続柄及び生年月日を証明する書類(医師又は助産師が発行する出生(産)証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書、官公署が発行する出生届受理証明書、住民票謄本等のいずれか)を添付すること(写しでも可)
- 2 子の出生前に請求する場合は、「3 請求期間」欄は出産予定日以後の期間とし、「1 請求に係る子」欄の記入及び証明書類の添付は、出生後、速やかに行うこと。
- 3 「5 備考欄」には、請求に係る子以外に3歳に満たない子を養育する場合(佐賀県職員の育児休業等に関する条例第2条の2に規定する期間に、職員(当該期間内に産後休暇(職員の勤務時間、休暇等に関する条例第19条に規定する産後休暇をいう。)により勤務しなかった職員を除く。)が当該請求に係る子について最初の育児休業をする場合を除く。)においては、その氏名、請求者との続柄及び生年月日、請求に係る子が養子の場合においては、養子縁組の効力が生じた日、請求に係る子以外の子について現に育児休業の承認を受けている場合においては、その旨並びに当該承認に係る子の氏名及び当該承認に係る期間等について記入すること。
- 4 該当する には、レ印を記入すること。

様式第三号中「(第4条関係)」を「(第3条関係)」とし、

| | | |
|----------------------|----------------------|-------------------|
| 再度の請求予定期間 | 年 月 日から | 年 月 日まで |
| 4 配偶者の養育計画 | | |
| 配偶者の氏名 | | |
| 養育予定期間 | 年 月 日から | 年 月 日まで |
| 子を養育するため に利用する制度等 | 育児休業 育児休業以外の休業・休暇 | 育児短時間勤務 その他() |

| | | |
|-----------|---------|---------|
| 再度の請求予定期間 | 年 月 日から | 年 月 日まで |
|-----------|---------|---------|

5 備考

4 備考

3を削り、同様式の注の4を同様式の注の3とし、同様式の注の5を同様式の注の4とし、同様式の注の6を同様式の注の5と改める。

様式第三号中「(第6条関係)」を「(第5条関係)」とし、

「 育児休業等に係る子を配偶者が養育できることとなった
育児休業等に係る子が死亡した 」

「 育児休業等に係る子が死亡した 」とし、「取り消し」を「取消し」と改める。
様式第四号を次のように改める。

育児短時間勤務承認請求書

| | | | |
|------------------------------------|--|---|----------------------------|
| (任命権者) | | 年 月 日 | |
| _____様 | | 請求者 所属名 _____ | |
| 下記のとおり 育児短時間勤務の承認 育児短時間勤務の期間の延長 | | 職 名 _____ | |
| を請求します。 | | 氏 名 _____ 印 | |
| 1 請求に係る子 | 氏 名 | | |
| | 続 柄 | | |
| | 生 年 月 日 | 年 月 日生 | |
| 2 請求の内容 | 育児短時間勤務 (新規 再度) | 育児短時間勤務期間の延長 (新規 再度) | |
| | (再度の請求又は育児短時間勤務期間の延長の請求が必要な事情) | | |
| 3 請求期間 | 年 月 日から 年 月 日まで | | |
| 4 勤務の形態 | 週 時間勤務 (育児休業法第10条第1項 第1号 第2号 第3号 第4号 第5号 の勤務形態) | | |
| | 勤務の日 及 び 時 間 帯 | 月 (: ~ :) 水 (: ~ :) 金 (: ~ :) | 火 (: ~ :) 木 (: ~ :) |
| 5 既に育児短時間勤務をした期間 | 年 月 日から 年 月 日まで | | |
| | 年 月 日から 年 月 日まで | | |
| 6 備 考 | | | |

- (注) 1 この請求書(育児短時間勤務の期間の延長に係るものを除く。)には、請求に係る子の氏名、請求者との続柄及び生年月日を証明する書類(医師又は助産師が発行する出生(産)証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書、官公署が発行する出生届受理証明書、住民票謄本等のいずれか)を添付すること(写しでも可)。
- 2 子の出生前に請求する場合は、「3 請求期間」欄は出産予定日以後の期間とし、「1 請求に係る子」欄の記入及び証明書類の添付は、出生後、速やかに行うこと。
- 3 「勤務の日及び時間帯」欄に掲げられていない日に勤務を希望する場合等当該欄により難しい場合には、「6 備考」欄に必要な事項を記入すること。
- 4 「6 備考」欄には、請求に係る子以外に小学校就学前の子を養育する場合には、その氏名、請求者との続柄及び生年月日、請求に係る子が養子の場合においては、養子縁組の効力が生じた日、請求に係る子以外の子について現に育児短時間勤務の承認を受けている場合においては、その旨並びに当該承認に係る子の氏名及び当該承認に係る期間等について記入すること。
- 5 該当する には、レ印を記入すること。

様式第五号の表を次のように改める。

(表)
部分休業承認請求書

| | | | | |
|---|--|--------|-------------|-----|
| (任命権者) _____様 下記のとおりに部分休業の承認を請求します。 | 年 月 日 請求者 所属名 _____ 職 名 _____ 氏 名 _____ 印 | | | |
| 1 請求に係る子 | 氏 名 | | | |
| | 続 柄 | | | |
| | 生 年 月 日 | 年 | 月 | 日 生 |
| 2 請求期間及び時間 | 期 | 間 | 時 間 | |
| | 年 月 日から | 毎 日 | 午前 時 分～ 時 分 | |
| | 年 月 日まで | その他() | 午後 時 分～ 時 分 | |
| | 年 月 日から | 毎 日 | 午前 時 分～ 時 分 | |
| | 年 月 日まで | その他() | 午後 時 分～ 時 分 | |
| 3 備 考 | | | | |

- (注) 1 この請求書には、請求に係る子の氏名、請求者との続柄及び生年月日を証明する書類(医師又は助産師が発行する出生(産)証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書、官公署が発行する出生届受理証明書、住民票謄本等のいずれか)を添付すること(写しでも可)。
- 2 部分休業の承認が、職員からの申請に基づき取り消された場合は、その旨を裏面に記入すること。
- 3 該当する には、レ印を記入すること。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。